

横浜市立大学附属市民総合医療センター薬剤部 2023 年研究業績

(著 書)

牛島大介, 若林秀隆, 秋下雅弘, 倉田なおみ他: 高齢者の服薬支援 総合力を活かす新知識と実践 (第2版). 講談社, 157-169, 2023.

勝亦秀樹: 同効薬・類似薬のトリセツ. メジカルビュー社, 1-21・317-322, 2023.

江口雄太郎, 大久保孝則, 尾田未来, 坂本修, 杉山菜穂, 花谷直美, 山口智子, 山本環, 小杉三弥子, 牛島大介, 栗島直希, 近藤潤一 他: やさしくわかる頻用薬. 株式会社ナツメ社, 2023.

(学会等発表)

Hideki Katsumata, Kyoto Nakamura, Takeru Abe, Hitoshi Sato: Delivering Information effectively from hospital to the staff during the Covid-19 pandemic. International Forum on Quality and Safety in Healthcare, Melbourne, 2023, 11.

荻田義明: 安否確認システムの運用 見直しと訓練 (第一報). 第28回日本災害医学会総会・学術集会, 岩手, 2023, 3.

荻田義明: 薬剤部内の火災対応訓練 (コロナ禍での新たな訓練方式の試行). 日本災害医療薬剤師会第10回学術大会, 福岡, 2023, 3.

田内明佳, 杉山菜穂, 松島美知子, 津野丈彦, 宇野洋司, 小杉三弥子, 佐橋幸子: Pembrolizumab による免疫有害関連事象 (irAE) の発現状況に関する後方視的調査, 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023, 名古屋, 2023, 3.

竹内皓太, 津野 丈彦, 山本 環, 山口智子, 小杉三弥子, 佐橋 幸子, 宮崎 拓也: 同種造血幹細胞移植時の口腔咽頭粘膜炎に対する強オピオイド鎮痛薬の使用実態を検討する単施設後方視的観察研究. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023, 名古屋, 2023, 3

谷垣柊乃介, 小濱弥真斗, 津野丈彦, 宇野洋司, 小杉三弥子, 佐橋幸子: 経口用 LVFX 製剤の使用状況と E. coli の薬剤感受性率変化について. 日本薬学会第143年会, 北海道, 2023, 3.

津野丈彦: 進行再発がん患者におけるオピオイド鎮痛薬導入前後の心理的障壁と疼痛: 多施設共同研究, 第28回日本緩和医療学会学術大会, 兵庫, 2023, 6. 優秀演題賞

勝亦秀樹: 限られた人員で、周術期薬剤業務を効果的に実践するために. 第6回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum (シンポジウム) (WEB開催), 2023, 7.

古木龍一，出口智恵，井上明子，後藤枝里子，牛島大介，近藤潤一，木村活夫，上田直久，阪本まり：低栄養状態が遷延したパーキンソン病患者における経管栄養剤選択が及ぼした影響-NST 介入を通して，第 17 回パーキンソン病・コンgres，大阪，2023，7.

黒川安佑実，牛島大介，津野丈彦，小杉三弥子，佐橋幸子：プラスチック針を用いた抗がん剤調製の有用性の検討．日本病院薬剤師会関東ブロック第 53 回学術大会，新潟，2023，8.

藤田彩花，宇野洋司，鈴木太一，小杉三弥子，佐橋幸子：計数調剤支援システムにより発見された 薬剤取り間違いの解析、日本病院薬剤師会関東ブロック第 53 回学術大会，新潟，2023，8.

砂川由香理，谷中美和，田野島美城，津野丈彦，小杉三弥子，佐橋幸子：妊娠中においてスボレキサントを処方された患者の妊娠転帰を検討する後方視的観察研究．日本病院薬剤師会関東ブロック第 53 回学術大会，新潟，2023，8.

津野丈彦：患者の主観を取り入れた臨床研究を経験して，第 42 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム シンポジウム 4 薬剤師によるオピオイド鎮痛薬に関する研究と教育，千葉，2023，9.

花谷直美，近藤潤一，杉山菜穂，津野丈彦，小杉三弥子，諏訪雄亮，沼田正勝，渡邊 純，佐橋幸子：進行再発大腸癌に対する FOLFIRI+Ramucirumab 療法における尿定量検査の有用性の検討．第 61 回日本癌治療学会学術集会，神奈川，2023，10.

勝亦秀樹，永野由美，菊地達也，西本知美，安部猛，佐藤仁，中村京太：医療安全部門の動画作成による患者参加支援への取組み．第 18 回医療の質・安全学会学術集会，神戸，2023，11．ベストプラクティス賞（優秀賞）

（その他）

宇野洋司：腎機能低下患者における薬学的管理のポイント．公益社団法人神奈川県病院薬剤師会 中小病院診療所委員会横須賀地区研修会，Web 開催，2023，2.

勝亦秀樹：大学病院と地域をつなげる薬剤師のチカラ～病院薬剤師の立場から～．令和 5 年度国公立大学附属病院医療安全セミナー，大阪，2023，6.

中村京太，勝亦秀樹：多職種がレジリエンスを発揮する，バウンダリースパナーの役割遂行．令和 5 年度医療安全対策研修，川崎，2023，10.

坂本 修：当院におけるせん妄の薬物治療．不眠症・認知症ケアを考える会，エーザイ株式会社，神奈川，2023，11.

宇野洋司：腎機能の評価．令和 5 年度「神奈川 腎と薬剤研究会」研修会，神奈川，2023，12.